

第2回庄内町学校適正規模・適正配置審議会会議録

- 1 会議日程 令和4年2月18日(金)
 - 開会 午後6時30分
 - 閉会 午後8時04分

- 2 会議場所 庄内町役場 B棟 会議室1・会議室2

- 3 内 容
 - 1 開 会
 - 2 会長挨拶
 - 3 教育長挨拶
 - 4 協 議
 - (1) 学校の適正な規模の考え方について
 - (2) 学校整備にかかる費用について
 - (3) R2 学校施設適正規模・適正配置検討委員会 グループワークより
 - (4) 学校適正規模・適正配置に関するアンケート調査について
 - (5) その他
 - 5 そ の 他
 - 6 閉 会

- 4 出席者

菅原弘昭	佐藤 彰	佐藤浩紀	門脇 伸	藤井真紀子
松田 透	佐藤義徳	佐藤一典	齋藤慎一郎	佐藤 一
富樫豊一	三浦志保	菅野由香里	齋藤裕子	

- 5 欠席者

河村竹宏	早坂 桂	門脇良至
------	------	------

- 6 町教育委員会出席者

教育長	佐藤真哉
教育課長	佐藤秀樹
指導主事	高橋一枝
指導主事	富山裕二
教育課主査兼学校教育係長	渡部恵子
教育課主査兼教育施設係長	日下部洋一
教育課長補佐兼教育総務係長	佐藤正芳

開 会	(午後6時30分)
課長補佐兼教育総務係長	第2回庄内町学校適正規模・適正配置審議会を開会いたします。 次第に沿って進めさせていただきます。会長挨拶をお願いします。
会長	本県では今月の20日でまん延防止重点措置を解除する方向となっているようですが、今日はまだその期間中という中での本審議会の開催となりました。感染防止に留意しながら限られた時間の中で充実した話し合いができますようお願い申し上げます。さて、第1回目の審議会では、事務局からの説明と、それに対する質疑応答と進めてきましたが、今回は新たな資料も準備しております。それらを踏まえて出来るだけ多くの皆さんからご自分のお考えをまとめていただきながら多くの発言を頂戴できればと思っていますところです。現時点で思っていることを話し合っ多様な視点から本町の学校適正規模・適正配置について、考える場に出ればと思っていますところです。どうぞよろしくお願い申し上げます。
課長補佐兼教育総務係長	続いて、教育長挨拶をお願いします。
教育長	まん延防止重点措置の中、感染防止対策を十分に行って会を進めてまいりたいと思います。今日は2回目の審議会となります。町民や教育に携わる方々のご意見を頂戴しながら皆さんの納得のいく形を目指し慎重かつ迅速に方向性を定めていきたいと考えております。“20～30年後を見据えて、より良い学び(学校生活)ができる持続可能な学習環境をつくる”ということを審議の基本的な方針に据えながら進めてまいりたいと思います。限られた時間ではございますが、皆さんの質問やご意見、アンケートの記入等していただきながら、より多くの忌憚りの無いお考えをお聞かせいただけるようご協力心からお願い申し上げます。
課長補佐兼教育総務係長	委員の報告をいたします。河村竹宏さん、早坂桂さん、門脇良至さんの3名は欠席の連絡をいただいております。本日は14名の出席となっており委員の過半数を超えておりますので審議会が成立していることを報告いたします。協議に入りますが、ここからは会長より進めていただきます。
会長	協議に入る前に審議の基本方針ということで「20～30年後を見据えて、より良い学び(学校生活)ができる持続可能な学習環境をつくる」を提案されておりますが、皆さんからご質問ご意見等ありますでしょうか。 無ければ、以後この審議会はこの基本方針に沿う形で審議をしていくということで確認させていただきます。それでは、協議に入ります。 (1) 学校の適正な規模の考え方について (2) 学校整備にかかる費用について 説明をお願いします。
学校教育係長	(学校の適正な規模の考え方について資料に基づき説明する)
教育施設係長	(学校整備にかかる費用について資料に基づき説明する)
会長	ご質問ありますか。
委員	事務局から説明があったが分かりづらかった。説明する内容をレジメ風にして配っても良かったのではないか。何を基準にして、どうなのか、ポイントだけでもメモなどで示してほしい。次回から願います。
教育課長	今回の資料については見づらい資料ということで、お詫び申し上げます。次回からの資料については、見やすい、分かりやすい資料に努めたい。
会長	次回からはよろしくお願い申し上げます。他にありますか。 (3) R2 学校施設適正規模・適正配置検討委員会 グループワークより

	について説明願います。
高橋指導主事	(資料に基づき説明する)
会長	ご質問ありますか。
委員	小中一貫校というのは、どのようなものなのか説明願いたい。中学校の校舎を小学校として使用することは可能なのか。
高橋指導主事	小中一貫校にはいくつかパターンある。一つ目は、校長先生が一人で小中を一つとして先生方は小中両方に教える。二つ目は、それぞれに校長先生がいて、教員は小中両方に教えに行く併設型というパターンもある。今後、小中一貫校の実例などの資料を提供させていただく。
教育課長	改造すれば中学校校舎を小学校への転用は可能とは思われる。補助金などのようにして入ってくるのかなど財政面のことは調査していないことから、この場では説明できない。
会長	よろしいですか。 他にありますか。
委員	昨年度の学校施設適正規模・適正配置検討委員会のグループワーク資料では、非現実的な案がある。お金の問題ではない。何十億かかっても必要な物は揃えていく、そういうことが必要である。 地域と離れた学校とは、都会ではありえると思う。学校は工場ではない。個々の少ない人数で学校を発展させるにはどうすればいいのか、そういうことを現場の先生には考えていただきたい。
教育課長	貴重なご意見として受け止めさせていただきます。今回の案については、考えられるもの全て出させていただいた。現実的に難しいようなものが入っているとは事務局でも思っている。
会長	あくまでも参考資料ということで理解ください。他にありますか。 単学級が多く、複数学級をつくれなくなっているが、複式学級はどうか。
高橋指導主事	小学生が急に激減しない限りは、当分そのような状況にはならないと想定している。
会長	このような状況も委員には理解しておいてほしい。ここで資料を眺めていただき、意見をまとめる時間を取りたいと思います。(19:11)
会長	(19:19) 再開します。
委員	本日の資料すごく細かく詳しい資料で、これからの議題になってしまうが、今後アンケート調査を実施するとのことで、相当な人数を対象とするようで、そのアンケートでどのような町民の声が出てくるのか、それを踏まえ議論しなければならぬと感じた。
会長	後ほどアンケート調査についても説明があります。他にありますか。
委員	町民アンケートでは、昨年ของกลุ่มワークのように統合のパターンを示したりするのか。
課長補佐兼教育総務係長	具体的な統合案というようなものを示すことは考えていない
委員	アンケートは2回、3回と複数回実施する予定なのか。
課長補佐兼教育総務係長	アンケートは1回のみの実施と考えている。
委員	どういった案があるのか、町民の皆さんから知っていただくことも大切だと思う。
教育課長	アンケートを取ってから議論するやり方もあると思うが、ある程度皆さんから町の状況等を知っていただき、その上でアンケートをどうあるべきか、皆さんから意見をいただきたいと思います。

会長	のちほどアンケート調査についても説明がありますのでよろしくお願ひいたします。
委員	アンケートは作る人が誰なのかということによって設問が違っていき、結果を導くことができる。立場の違う人達、第三者機関とかそういう形でアンケートを作らなければならないのではないか。
会長	アンケートの信頼性、信憑性そういったものをいかに担保するかという意見だったと思う。
課長補佐兼教育総務係長	第三者機関でアンケートを作成との意見であったが、この審議会が、その第三者機関というものになる。委員の皆さんからご意見をいただきながらアンケート調査を実施したい。
会長	アンケートに関わる意見が出ているので（４）学校適正規模・適正配置に関するアンケート調査について 説明をお願いします。
課長補佐兼教育総務係長	（資料に基づき説明する）
会長	ご質問、ご意見ありますでしょうか。
委員	アンケートを取るにあたっての情報提供が無いと難しい。また、適正規模の数値なものは国が示しているの、そうではなく「この町の学校をどういう学校にしていくのか」という視点も大事なのではないか。それをアンケートで聞いたら面白いのではないか。
会長	次回アンケートのたたき台が提示され、いくらでも軌道修正させられるとの理解で良いか。
教育課長	そのように考えております。会議の1週間くらい前までに資料を配付し、会議に臨んでいただけるような進め方をしたい。
会長	適切、適正なアンケート内容になるように、この審議会が役割を果たすということで確認させていただきます。 その他ご意見等ありませんか。
委員	特別支援学級のこと考える必要があるのではないか。
委員	町民みなさんの声、保護者の声、子どもたちの声を十分とっていただけるアンケートにしていけないと思う。庄内町の子どもがどんなところで学んでいってほしいか、というところを一番大事にして考えていければと思う。
委員	今まで閉校の経験をしてきたが、お金のことではなく、子どもを大事にし、子どもにとって何が一番なのかを考えていかなければならない。
委員	部活動とかの選択肢が必要とも考えている。
委員	この審議会が開催された主な理由は、校舎の老朽化なのか、子どもの人数が減ったからなのか。
教育課長	学校施設に関しては建設から50年以上経過している校舎が多く、子どもの人数も学校で差が出てきていることもあり、両方一緒に解決するためにこの審議会を開催するに至った。学校施設の老朽化が前面に出ているが、学校をそのまま建て替えるかとなった場合、短期的にはそれで良いのですが、20年後、30年後を考えた場合に本当にそれでいいのか、ということにつながるの両方を解決するためにこの審議に臨んでいただければと思います。
委員	統合する場合、単純に寂しいし、地域とのつながりも大切にしたいとは思ふ。しかし、統合したから地域とのつながりが無くなるものとは思わない。
委員	パワーポイントを使いながら、目視で確認しやすくという資料もあっても良いのかなと思った。学校適正規模に関しては、1学年2～3クラスあった方が良くないと考えており学校は統廃合すべきと思っている。統廃合したとしても、子ど

	<p>も達はそういう環境にはすぐ慣れるし、親の方の反対の方が大きいのではないかと思っている。費用については、町の財政を考えると、今後どんどん減っていくと予想されるので、統合することによってのコスト減をすべきと考えている。庄内町に人が流れる仕組み、定住促進が一番重要になるのではと考えている。スクールバスの内訳が無かったので、情報提供を望む。</p>
会長	<p>事務局で今のスクールバスのことについて説明出来ますか。出来ないようだったら次回説明ください。</p> <p>約束の時間があつという間に過ぎてしまいました。もっと時間がとれればと思います。コロナ禍ということもあり、きちっと守っていきたいと思いますので事務局に進行をお返しします。</p>
課長補佐兼教育総務係長	<p>ありがとうございました。</p> <p>5その他 ですが次回開催は5月中に開催したいのでよろしく願いいたします。意見集約用紙の提出をお願いします。</p> <p>以上をもちまして第2回庄内町学校適正規模・適正配置審議会を終了します。</p>
閉 会	<p>(午後8時04分)</p>